

くじらがし、け

しづはた購買店だより 静岡市葵区下 1459-1 ☎294-9330 FAX294-1635

購買：山下・谷米・竹澤	配送：白鳥			
購買・地区担当	昭府地区担当：海野	大町内地区担当：川嶋	梅ヶ島地区担当：望月 達	
北部営農センター（しづはた担当）	茶：折山	蔬菜・苺・水稲：石井	果樹：伊藤	女性部：大越

【茶】来年の1番茶の土台となる三番茶（母枝）を作る重要な時期です。

《防除》梅雨時期の病害虫防除が今後の生育と翌年の1番茶に影響します。

◎2茶 摘採後（整枝後）

ハ マ キ ム シ 類	デ ィ ア ナ S C	5,000倍	14日 混用
輪 斑 病	テブロスフロアブル または アミスター20フロアブル	1,000倍 2,000倍	

※ 2茶摘採後、黒褐色に枝が変色するのは輪斑病の可能性あります。

※ 輪斑病の防除（テブロス・アミスター）は、整枝直後～2、3日以内に行うと効果的です。

◎3茶 萌芽期～1葉期

炭そ病・もち病・新梢枯死症	フ ロ ン サ イ ド S C	2,000倍	14日 混用
ウンカ・スリップス	コルト顆粒水和剤	2,000倍	

※ フロンサイドSCはかぶれる可能性があるので気になる方は代わりにダコニール（1,000倍）を散布

◎クワシロカイガラムシの被害がある場合は、7月中旬までに防除。

※ 第2世代からダラダラ発生となりやすいので、ふ化幼虫期の判定は枝を持参いただければ行うことができます。

アプロードエースF 1,000倍 14日 単用 又は
コルト顆粒水和剤 2,000倍 7日 単用

◎マダラカサハラハムシ被害にご注意を！

マダラカサハラハムシは、成虫が若葉に1mm前後の穴を開け、また新梢の柔らかい枝や葉柄を食害し、ポキッと折ってしまいます。被害が見られる場合は、防除をお願いします。

防除適期：7月～9月（3茶生育期）

登録農薬：劇 コテツフロアブル（2,000倍）、劇 ハチハチ乳剤（1,000倍）
ダントツ水溶剤（2,000倍）



体長約4mm

《2番茶を摘採しない茶園の整枝》

◎時 期 6月下旬～7月最上旬（2茶芽が出揃った頃）

◎整枝位置 一番茶摘採位置よりやや深め（1番茶葉を無くす位の浅刈り）

※ 山間地については、秋整枝の時期までが短い為2番茶芽を2節残す程度の整枝

《1番茶後更新園の整枝》

◎時 期 再生芽が平均15cm程度伸びた頃

（葉が5～6枚つき、再生芽下部が青茎から木化した頃）

日数の目安⇒深刈り更新・・・更新後50～60日後

中切り更新・・・更新後60～70日後

◎整枝位置 更新した位置より5cm程度上（新葉が2枚程度残る高さ）

※ 生育が遅く、7月末までに再生芽が十分に伸びない場合、秋に整枝をしてください。

日数よりも芽の大きさを優先して下さい。

高温・少雨対策

2茶後のナラシ時期について

近年の気象状況

・ 翌年1番茶の母枝となる3茶芽の生育時期である7月中旬～8月中旬にかけての降水量が本年についても少雨及び酷暑（35℃以上）が予想されます。

⇒ 3茶芽生育期に、高温少雨の場合、生育不良で芽伸びが悪くなります。その結果、秋整枝後の摘採面の芽数が減り、葉量も減り、1番茶の収量・品質が低下する恐れがあります。

夏場の対策 ☆ 灌水の実施 【灌水施設整備園等】

☆ 2茶後の整枝時期の前倒しを実施する。

（前年に干ばつの影響を甚大に受けた茶園は6月末までに完了する）

・ 近年、8月に赤ダニが多発生することがあるので注意する。

茶樹粉碎・抜根などの作業委託ができます

更新のための根切り（台切り）や茶から他作物への転換、耕作放棄茶園の解消のために、茶樹粉碎 及び 茶樹抜根、整地の作業委託を受付しております。（掲載料金はJA組合員 価格）

・茶樹粉碎 16,000円/時間 茶樹伐根・天地返し 7,000円/時間

【所要時間目安：粉碎機 2時間/反・抜根 8時間/反・天地返し 12時間/反】

・運搬料（粉碎・抜根）10㌦までは3,000円 以降10㌦を目途に1,000円を加算。

※ 傾斜が急・入り口がない等の理由で作業ができない場合がありますのでご了承ください。

※ 茶樹抜根・天地返しは、最低料金が14,000円となります。

【問い合わせ】 JA 静岡市 しづはた購買店 折山（TEL：294-9330）

購買品

熱中症予防に水分補給を！ 飲料発売中！

香りすっきり、味わいしっかりり

静岡茶ボトル缶

（400g×24本） 3,348円（税込）

JA 静岡市管内のお茶を使用！！
農作業のお供にオススメです！

新商品

夏場の水分補給はコレ！！

熱中対策水（日向夏味）

（500ml×24本） 3,250円（税込）

汗に近いイオンバランスで体を守ります。
現代人に不足しがちなマグネシウムを
（夏の暑さ対策）配合しました。

他にも、はとむぎ茶、ポカリスエット、みかん日和、北海道トマトジュース（無塩）、
スパークリングみかん、コーヒー（ブラック・カフェ）等 様々な飲料を取り扱っております。

お中元等の包装もお受け致します。1箱から配達します。ぜひ、ご注文下さい♪

6月中旬よりヤマキお盆用品の店頭販売を開始致します

いちご



《本圃》 片づけと来作に向けた準備 「土 耕」

- ① 除 塩：ア。たん水状態(水田)にする イ。ビニールをとり雨にあてる ウ。ソルゴー等を栽培し、圃場の外へ持ち出す。(いずれかの方法で処理する)
 - ② 土壌診断：施肥前には必ず土壌診断を実施して、診断結果に応じて施肥をしましょう。
リン酸過剰の場合はV型肥料や土壌に吸着したリン酸の吸収を促す資材を活用
 - ③ 土壌改良：物理性改善にベラボン(スーパーベラボン・ベラボン5M) / 3年に1度※取り寄せ
- ## 「高 設」
- ① 除 塩：収穫終了後14日程度は原水のみ流し、いちごに肥料を吸わせてから株を処分
じょうろ口などを使用し、灌水ホースでベンチ上から水をかけ、洗い流すのも有効です。
 - ② 排水対策：長年使っている栽培槽では断根シートが目詰まりや培土の腐食が進んでいます。
断根シートや培土の定期的な交換を行い、排水対策をしましょう。
培土交換目安：10年

- ## 《育苗》 親株肥培管理 (メルコクアント試験紙で500ppm以上を推移しましょう)
- ① IB化成S1号の場合：親株1株あたり10日で3粒もしくは14日で4~5粒を施用する。
※給液チューブの場合は水のかかる場所にIB化成があるように配置して下さい。(加水分解のため。)
 - ② 給液管理の場合：EC 0.5~0.6を目安に給液。(7月の目安：600~1,000ml / 株/日)
→灌水不足はランナー発生の減少に繋がります。培地が乾かない様に適時灌水して下さい。
→培土や灌水チューブの種類によって灌水量や頻度が異なります。

1. 育苗圃防除ローテーション(先月号の続き)

時 期		薬 剤	RAC	倍率	主な対象病害虫
7 月	第1週 (28日～4日)	デラン（フ）㊟	M9	1,000倍	炭そ
		エコピタ（液）	—	100倍	うどんこ・ハダニ・アブラムシ
	第2週 (5日～11日)	セイビアー（フ）	12	1,000～1,500倍	炭そ
		アグリメック ㊟	6	500～1,000倍	ハダニ
	第3週 (12日～18日)	ジマンダイセン（水）	M3	600倍	炭そ
		エコピタ（液）	—	100倍	うどんこ・ハダニ・アブラムシ
	第4週 (19日～25日)	ベルコート（水）	M7	1,000倍	炭そ・うどんこ
		グレーシア（乳）※	30	2,000倍	ハダニ・ヨトウ・アザミウマ

※グレーシアは天敵放飼前日数100日以上なので早めに放飼する場合は注意が必要です。必要に応じて農薬の選定を行ってください。

2. 採苗スケジュール

【栽培面積10aで県平均定植数6,500本を定植する場合】

作業	時期	計画	必要本数
最終ポット受け	7月中旬	1株当たり15~20本程度採苗	定植本数の1.2倍程度採苗しましょう。
切り離し予定日	8月上旬	最終ポット受けから20日以上	
定植予定日	9月下旬	目標育苗日数：45日以上	

※温暖化の影響で、平地育苗では10月に入ってから定植となる方が増えています。育苗日数の長期化により根詰まり等(特に小型ポット)が懸念されますので、切離し時期は適宜調整して下さい。

例：10月1日定植の場合 → 切離し8/15~20頃

3. 炭疽病の発生対策

発生しやすい条件

高温多湿環境で発生が助長される。(20℃以上、適温は28℃) 「ジメジメさせない!!」

感染対策

- ①まず第一に作業開始前に怪しい株の除去をしましょう。(拡大させない!!)
→炭疽病と思われる株を触った際は必ず、手袋等を交換し鉢などの道具も再度消毒する。
→胞子は農薬散布により500cm以上飛散、頭上灌水により120cm程度飛散。
- ②点滴チューブ等を使用してソフトな灌水とする。(泥はね、水はねを防止する。)
- ③葉かきなどの作業は晴天日に実施する。傷口保護の為、作業の後には必ず薬剤散布をする。

4. 高温対策

- ①妻面のビニールを外す等できるだけ解放し、扇風機や循環扇を使い空気を動かす。
- ②遮熱、遮光資材、花芽分化促進ポットの活用

毒劇物に指定されている農薬は㊟と表記してあります。購入の際には必ず印鑑(認印)をご持参ください。農薬の使用時は必ず登録の確認をお願い致します。

水稻

1. ガス抜き

- ・特にどぶどぶした水田やレンゲ、雑草、ワラ等をすき込んだ水田で実施

- ・翌日が晴れの日の前日に落水して次の日の夕方に入水する

2. 中干し

- ・田植え後30~35日頃に1株18~20本の分けつが確保できたら開始する
- ・表面がヒビ割れする程度に7~10日間を目安に実施(乾田・やせ地は短く実施する)

3. 除草剤

- ・雑草が残っている場合は中干し頃に下記のいずれかの薬剤を散布する
- ・いずれの薬剤も雑草が大きくなると効果が劣るので葉枚数5枚までに散布すること
(10aあたり)

ヒエ専用	クリンチャーEW	100ml/10a	混用可
広葉雑草	MCPソーダ塩	200g/10a	
ヒエ&広葉	ロイヤント乳剤	200ml/10a	※
	クリンチャーバスME液剤	1,000ml/10a	展着剤は加用しない

※クログワイ、ホタルイの発生が多い場合は「クリンチャーバスME」or「MCPソーダ塩」を使用すること

ジャンボタニシ対策



スクミノン	1~4kg/10a	収穫60日前まで-2回
-------	-----------	-------------

- ・田植後2~3週間は浅水管理(水深4cm)
- ・例年発生の多い水田は薬剤を処理

野菜

梅雨時期には病気の発生が多くなります。降雨前後の薬剤散布を心がけましょう。

作物	病害虫	農薬	RAC	使用基準
キュウリ	べと病、褐斑病	ダコニール1000	M5	1,000倍 前日-12回
	うどんこ病	アミスター20(フ)	11	1,500~2,000倍 前日-4回
	ウリハムシ	スタークル(顆水溶)	4A	2,000倍 前日-2回
ナス	灰色かび病	フルピカ(フ)	9	2,000~3,000倍 前日-4回
	ハダニ	アーデント(水)	3A	1,000倍 前日-4回
	アブラムシ	コルト(顆水和)	9B	4,000倍 前日-3回

未成熟とうもろこし

アワノメイガの防除適期は ①雄穂出穂初期 ②雌肥大期です。防除適期を逃さず防除を!

害虫	薬剤名	RAC	倍率	収穫前日数、使用回数
アワノメイガ	トレボン(乳)	3A	1,000倍	7日前-4回
	ブレバソン(フ)5	28	2,000倍	前日-3回
	フェニックス(顆水和)	28	2,000~4,000倍	前日-2回
アブラムシ	モスピラン(顆水溶)㊟	4A	2,000~4,000倍	前日-3回

※「未成熟とうもろこし」と「ヤングコーン」は登録が異なります。必ずラベルを確認してください。

《柑橘》

6月末には生理落果が終了し、早期摘果作業を行う時期となります。温州みかんでは、樹の状態を見て摘果を実施。中晩柑類は、一番の肥大時期ですので早期摘果に努めてください。

●温州みかん

防除時期	対 象 病 害 虫	農 薬 名	希 釈 倍 率	使 用 基 準
7月上旬	チャノキイロアザミウマ	キラップフロアブル	2,000倍	21日—2回
	カイガラムシ類	トランスフォームF	2,000倍	前日—3回
	黒点病	エムダイファー水和剤	600倍	60日—2回

※極早生へ7月15日以降に散布する場合は、ペンコゼブ水和剤 600 倍を散布。エムダイフ
アー水和剤は、使用しないこと。

展着剤のアビオン E 1,000 倍を混合することで農薬の付着期間を向上させます。

●果実品質向上管理（フィガロン）

	早 生 温 州		農薬混用時	青 島 温 州	
1 回目	7/ 1 頃 (満開後 60 日)	2,000 倍	3,000 倍	7/ 2 0 頃 (満開後 70 日)	2,000 倍
2 回目	7/20 頃 (満開後 80 日)	3,000 倍	5,000 倍	8/ 1 0 頃 (満開後 90 日)	3,000 倍

※樹勢の低下が見られる樹への散布は避ける。また、1 回目と 2 回目の散布期間は 20 日程度とすること。あまり間隔が空くと効果が低下しますので注意して下さい。

●中晚柑

防除時期	対 象 病 害 虫	農 薬 名	希 釈 倍 率	使 用 基 準
7月上旬	か い よ う 病	IC ボ ル ドー 4 1 2	50 倍	—
7月中旬	チャノキロアザミウマ	キラップフロアブル	2,000 倍	21 日—2 回
	黒 点 病	エムダイファー水和剤	600 倍	90 日—2 回

※カミキリムシ発生園は、モスピラン顆粒水溶剤 400 倍を株元に散布する。

●施肥

実肥	7月中旬	スルガエレガント ポ ン カ ン	スルガペレット 新FTE S604	2袋/10a 2袋/10a
----	------	---------------------	----------------------	------------------

《落葉果樹》

対象作物 防除時期	対 象 病 害 虫	農 薬 名	希 釈 倍 数	使 用 基 準
梨 7 月上旬	燐 紋 病 ・ 黒 星 病 ハマキムシ・シンクイムシ	ベンレート水和剤 フェニックスフロアブル	3,000 倍 4,000 倍	前日—4 回 前日—2 回
7 月中下旬	燐 紋 病 ・ 黒 星 病 ハマキムシ類・カメムシ類 シンクイムシ類	ストロビードライフフロアブル テルスター水和剤	3,000 倍 1,000 倍	前日—3 回 前日—2 回
いちじく 7 月上旬	アザミウマ類・キボシカミキリ さ び 病 黒 か び 病	劇モスピラン顆粒水溶剤 トリフミン水和剤 トップジンM水和剤	2,000 倍 2,000 倍 1,000 倍	前日—3 回 前日—3 回 7 日—5 回

対象作物 防除時期	対 象 病 害 虫	農 薬 名	希 釈 倍 数	使 用 基 準
いちじく 7 月中旬	カ ン ザ ワ ハ ダ ニ	ダニコングフロアブル	2,000 倍	前日ー1 回
7 月下旬	黒 か び 病	ロブラール500アクア	1,000 倍	3 日ー3 回
柿 7 月上旬	落 葉 病 炭 疽 病	エムダイファー水和剤	500 倍	45 日ー2 回
7 月中旬	カキノハタムシガ ハマキムシ類	フェニックスフロアブル	4,000 倍	7 日ー2 回
ぶどう 袋掛け後	ハ ダ ニ 類 ベ と 病	カネマイトフロアブル Z ボ ル ド ー	1,000 倍 800 倍	14 日ー1 日 ー
着色始め	チャノキイロアザミウマ クワシロカイガラムシ	スタークル顆粒水溶剤	1,000 倍	前日ー3 回
7 月下旬	ベ と 病	I C ボ ル ド ー 6 6 D	50 倍	ー
梅 7 月中旬	ウメシロカイガラムシ (第 2 世代幼虫)	コルト顆粒水和剤	2,000 倍	前日ー3 回
7 月下旬	黒 星 病	サルファーゾル	500 倍	ー
桃 7 月上旬	う ど ん こ 病	ベルクート水和剤	2,000 倍	前日ー3 回
7 月中旬	モモハモグリガ・コスカシバ シンクイムシ類	劇モスピラン顆粒水溶剤	2,000 倍	前日ー3 回
栗 7 月上旬	ネスジキノカワガ	劇パダンSG水溶剤	1,500 倍	裂果前ー3 回
7 月下旬	実 炭 疽 病	ベンレート水和剤	2,000 倍	14 日ー3 回